

令和4年度 第1回 鯖江警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年5月24日（火）午後2時から

2 場所

鯖江警察署

3 出席者

鯖江協議会委員 7名

鯖江警察署 署長以下 11名

4 議事

(1) 警察署長挨拶

(2) 協議会会長挨拶

(3) 治安情勢及び業務運営状況

ア 生活安全課

- ・ 子ども・女性・高齢者を脅かす事案の発生状況
- ・ 子ども・女性・高齢者を守る対策など犯罪を防止する取組の推進

イ 刑事課

- ・ 刑法犯認知件数、検挙件数
- ・ 刑事課の業務取組方針

ウ 交通課

- ・ 交通事故発生件数
- ・ 交通課の推進事項

エ 警備課

- ・ 緊急事態への的確な対処

オ 地域課

- ・ 系生駐在所の業務再開
- ・ 若手警察官の育成

カ 警務課

- ・ 女性職員のより一層の活躍とワークライフバランスの推進
- ・ 令和4年度、警察職員・警察官の募集概要

(4) 質疑応答

【委員】

管内で子どもに対する事件や被害はどのようなものがあるのか。

【警察】

当署管内では、子どもが被害となる凶悪な事件は発生していない。子どもの事案としては、下校時などに不審者に声をかけられたなどの事案が発生している。

情報を得た段階で、リュウピーネット等を活用して不審者情報を発信し、警戒するよう広報している。また、早急に各種捜査を行って、行為者を特定



するとともに、指導警告を行っている。

【委員】

7月1日から始まる自転車条例について教えてほしい。

【警察】

県の自転車条例は、ヘルメットの着用、自転車の点検、保険加入の3本が柱となっている。このうち、保険加入は完全義務化となり、ヘルメット着用と自転車の点検については、努力義務となっている。

【委員】

固定電話にかかってくる詐欺に対しては、今後どのように対策を図っていくのか。

【警察】

特殊詐欺の予兆電話は、ほとんど固定電話にかかっている。

対策として、地域警察官の巡回連絡時に、最近の手口を伝えることや不審な電話には出ないこと等の広報を行っている。



【委員】

死亡事故現場点検について新聞に掲載されていたが、どのようなことをしているのか。

【警察】

死亡事故現場点検とは、交通規制担当の警察、交通施設担当の道路管理者、その他地元住民や交通ボランティア等が事故現場に集まり意見を出し合っており、危険箇所の改善を行うものである。

協議した結果、一時停止や信号設置などの交通規制が必要であれば警察が、道路に強調表示を付けるなどの改良が必要であれば道路管理者が対応することとなる。

【委員】

特殊詐欺などの被害防止について、老人会等の会合を活用したらどうか。

【警察】

本年度に入り管内の老人会では、コロナ感染の収束を見据えてサロンや研修会などの活動再開を計画しており、特殊詐欺の講演依頼も受け始めている。感染防止に配慮した上で、老人会の会合に出向く出前型の広報を行っていく。

【委員】

大型店舗が増えたことで万引きがしやすくなったのではないかと心配している。

【警察】

近年、大型店舗やドラッグストアが増加し、売り場面積に対する従業員の数が昔と比べて少なくなり、従業員の目が届かなくなっている。したがって、商品を隠す場所や機会が増えたといえる。

なお、ドラッグストアは、外国人の組織的な連続窃盗犯が対象に選ぶ店で、当県も含め、高額化粧品などが全国的に被害に遭っている。